

製品名: PMS2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82350**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	95.8kDa

抗原情報

遺伝子名	PMS2
別名	MLH4; PMSL2; HNPCC4; PMS2CL
遺伝子 ID	5395.0
SwissProt ID	P54278
免疫原	大腸菌で発現したヒト PMS2 (AA: 748-851) の精製された組み換え断片。

背景

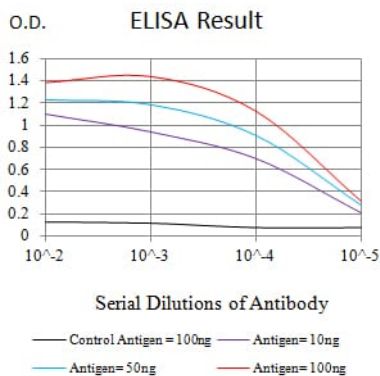
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、DNA 複製および相同組み換えの際に起こりうる DNA ミスマッチや小さな挿入・欠失を修正するミスマッチ修復システムの主要構成要素である。このタンパク質は、mutL ホモログ 1 (MLH1) 遺伝子の遺伝子産物と

ヘテロ二量体を形成し、MutL- α ヘテロ二量体を形成する。MutL- α ヘテロ二量体は、MutS- α および MutS- β ヘテロ二量体によるミスマッチおよび挿入/欠失ループの認識後に活性化されるエンドヌクレアーゼ活性を有し、ミスマッチ DNA の除去に必須である。この遺伝子によってコードされるタンパク質の C 末端には、ヌクレアーゼの活性部位の一部を形成する DQHA(X)2E(X)4E モチーフが存在する。この遺伝子の変異は、遺伝性非ポリポーシス大腸癌 (HNPCC、リンチ症候群としても知られる) およびターコット症候群と関連付けられている。 [RefSeq 提供、2016 年 4 月]

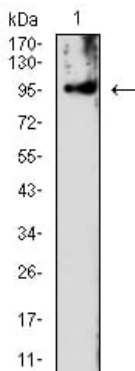
研究分野

-

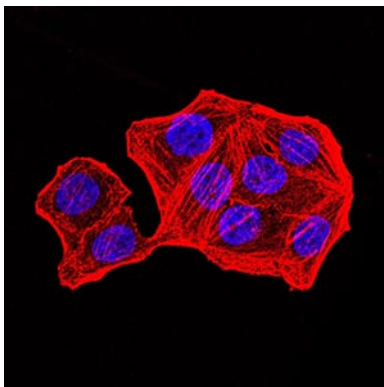
画像データ



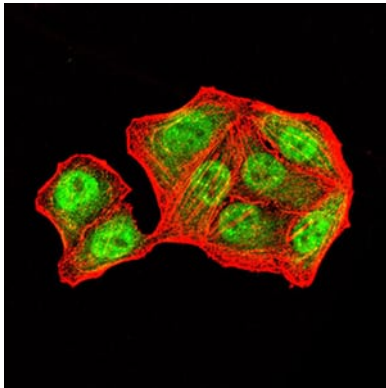
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



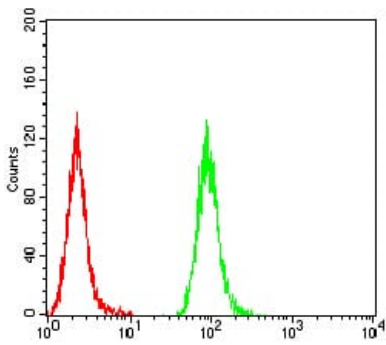
Hela (1) 細胞溶解物に対する PMS2 マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



PMS2 マウス mAb を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識したアクチンフィラメント。



PMS2 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



PMS2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。